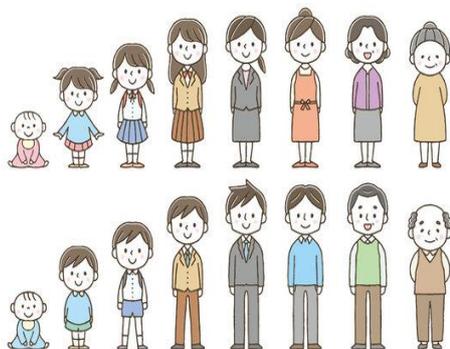




将来、社会人として生き抜くために



3年生は卒業、1・2年生は進級の時が近づき、それぞれの学年がもう少しで終わろうとしています。この1年を振り返ったとき、自分が「1年前より成長しているな」と感じているでしょうか。ほとんどの人が、体力が向上し、勉強もより難しいことが理解できるようになっています。ただ、中学校は義務教育の最終段階です。将来、社会を生き抜いていくために必要な「生きる力」は身につけているでしょうか？「浦島伝説」No.36で紹介した「Society（ソサエティ）5.0」と呼ばれる社会になっても、みなさんが身に付けなければならない基礎・基本は変わりません。

中学校は、小学校と違って、卒業後にどの道に進むのか、自分で決めなければなりません。それは、高校へ行く、仕事をするとかという目先の「何をするか」を決めるだけではなく、将来、「どのように生きていくのか」を考え、決めることでもあるのです。人生には、いろいろ楽しいこと、嬉しいこと、悲しいこと、苦しいことがあります。時には絶望してしまうこともあるでしょう。投げやりになってしまうこともあるでしょう。ただ、「よりよく生きること」をあきらめなければ、必ず道は開けてくるものです。そのために、中学校生活の中で、次の4つの力を身に付けてください。

① 社会に出て行くために必要な学力

中学校で学ぶ内容は、社会に出て行くために必要な基礎的・基本的なものです。これを身に付けておけば、将来、進む道を選ぶときの選択肢（せんたくし）が増えます。

② 周囲の人を大切に、思いやる心

自分の周囲にいる人を大切にする人は、自分も周囲の人から愛され、大切にされます。家族、友達だけでなく、周囲にいる人を思いやる心がけが必要です。

③ 周囲の人と協力して、物事をやり遂げる力

決まった手順で進めたらよい仕事は、コンピュータが人間の代わりにする時代になっています。しかし、人と協力して何かをやり遂げることは、コンピュータが決してできないことです。

④ 正直にまじめに生きる態度や力

社会がどんなに変化しても、「正直にまじめに生きる」人は、誰からも認められ、信頼され、困っていれば助けられて、学校や仕事、家庭がうまくいきます。

では、具体的には、どんなことができるようになっていけばよいのか？基本的な項目を、いくつか取り上げてみますので、自己点検してみてください。

誰にでも、いつも、相手の目を見てあいさつできる。

落ちているゴミを拾える。掃除に一生懸命取り組める。

環境美化のためだけではありません。誰も見ていなくても、勇気を持って恥ずかしがらずに自分の意思を貫いて行動に移す。これが習慣化されると、自尊心が芽生え、自分に自信が持て、何でもやってみようと思えるようになります。

他の人の話を、最後まで聞ける。

相手の話が終わるまでしっかり聴くことで、自分より相手を優先することができ、注意深く聴き取る力、集中力が身につきます。習慣化すると、人をまとめる力、リーダーシップにもつながります。

靴をそろえられる。

一度しゃがんで靴をそろえるのは、けじめをつけ、それぞれ物事にはルールがあることを認識する動作です。靴をそろえることで、けじめが付き、ルールを守ろうという意識につながります。